

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-068220
(43)Date of publication of application : 19.03.1993

(51)Int.Cl. H04N 5/64
G11B 33/02

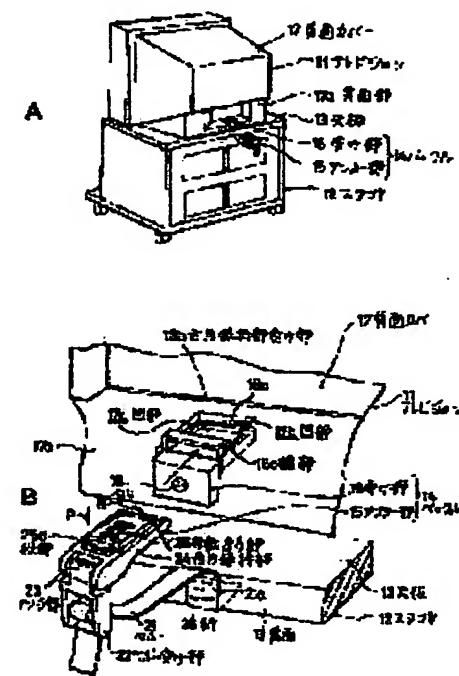
(21)Application number : 03-226139 (71)Applicant : SONY CORP
(22)Date of filing : 05.09.1991 (72)Inventor : SATO KYOKO
KUBO TOMOKO

(54) OVERTURN PREVENTING DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily connect a stand and a television to be used as being placed on this stand.

CONSTITUTION: In the overturn preventing device of the television 11 to be placed on the stand 12, the stand 12 is fitted with the anchor part 15 of a buckle 14. The television 11 is fitted with the receiver part 16 of the buckle 14. The buckle 14 is easily jointed by only inserting the anchor part 15 into the receiver part 16, and as the result, the television 11 and the stand 12 are easily connected, and the overturn of the television 11 can be prevented.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

*** NOTICES ***

Japan Patent Office is not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.
2. **** shows the word which can not be translated.
3. In the drawings, any words are not translated.

CLAIMS

[Claim(s)]

[Claim 1] A safety against overturning characterized by having allotted a male [of a buckle], or female side to the above-mentioned stand for AV equipments, and allotting a female [which is concluded corresponding to the above-mentioned male side of the above-mentioned buckle, or the above-mentioned female side], or male side in it to the above-mentioned AV equipment in a safety against overturning of an AV equipment used being put on a stand for AV equipments.

[Claim 2] A safety against overturning according to claim 1 whose AV equipment is a television receiver.

[Translation done.]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-68220

(43)公開日 平成5年(1993)3月19日

(51) Int.Cl.⁵

識別記号 廈内整理番号
581 A 7205-5C
302 Z 7177-5D

1

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2(全4頁)

(21) 出願番号 2013-226139

(22)出願日 平成3年(1991)8月5日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 佐藤 京子

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
一株式会社内

(72)発明者 夕保 智子

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ
精興会社

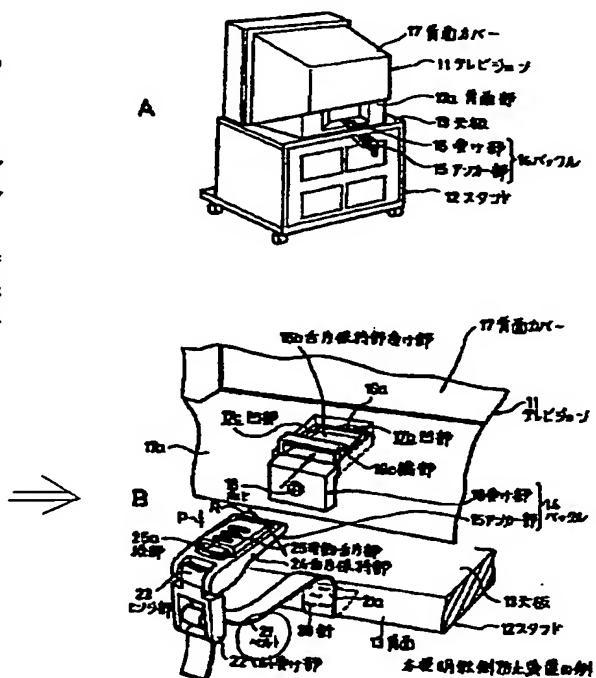
(74)代理人 美理士 楊潤 重慶

(54)【発明の名稱】 転倒防止装置

(57) [要約]

【目的】 スタンドとこのスタンドに載せて使用される
テレビジョンとを簡単に接続する

【構成】 スタンド12に載せられるテレビジョン11の転倒防止装置において、スタンド12には、バックル14のアンカ一部15が取り付けられる。テレビジョン11には、バックル14の受け部16が取り付けられる。アンカ一部15を受け部16に差入れることだけでバックル14が簡単に締結され、結果として、テレビジョン11とスタンド12とが簡単に締結されて、テレビジョン11の転倒が防止できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 AV機器用スタンドに載せられて使用されるAV機器の転倒防止装置において、上記AV機器用スタンドには、バックルの雄側または雌側が配され、上記AV機器には、上記バックルの上記雄側または上記雌側に対応して締結される雌側または雄側が配されたことを特徴とする転倒防止装置。

【請求項2】 AV機器がテレビジョン受像機である請求項1記載の転倒防止装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、例えば、テレビジョン受像機用スタンドに載せられて使用されるテレビジョン受像機の転倒防止装置に適用して好適な転倒防止装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 近時、ブラウン管技術等の発展に伴い、例えば、25インチの大口径ブラウン管が搭載されたテレビジョン受像機（以下、必要に応じてテレビジョンという）が市販されるに至っている。このようなテレビジョンは、大形であるばかりでなく、重量も重いものになっている。

【0003】 一般に、テレビジョンを見る場合には、テレビジョン受像機用スタンド（以下、必要に応じてテレビジョン用スタンドという）にテレビジョンを載せて見るようになっている。

【0004】 上述した大口径ブラウン管が搭載されたテレビジョンを上述したテレビジョン用スタンドに載せて見る場合には、テレビジョンの転倒を防止するための処置、すなわち、転倒防止装置が採用されている。

【0005】 図2に従来の技術による転倒防止装置の構成を示す。図2から分かるように、この従来の技術では、テレビジョン用スタンド1に載せられたテレビジョン2に対して、孔3があけられたベルト4が当たられ、そのベルト4が木ねじ5によりテレビジョン2とスタンド1に止められることで、テレビジョン2の転倒防止が図られていた。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上述した従来の技術では、ベルト4と木ねじ5により止める作業が面倒であるという問題があった。

【0007】 本発明はこのような課題に鑑みてなされたものであり、テレビジョン等のAV(audio-visual)機器とそのスタンドとを簡単に締結することを可能とする転倒防止装置を提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明転倒防止装置は、例えば、図1に示すように、テレビジョン受像機等のAV機器用スタンド12に載せられて使用されるAV機器

11の転倒防止装置において、AV機器用スタンド12には、バックル14の雄側15または雌側16が配され、AV機器11には、バックル14の雄側15または雌側16に対応して締結される雌側16または雄側15が配されたものである。例えば、AV機器用スタンド12にはバックル14の雄側15が配され、AV機器11にはバックル14の雄側15に対応して締結される雌側16が配される。

【0009】

【作用】 本発明転倒防止装置によれば、AV機器用スタンド12には、バックル14の雄側15または雌側16が配され、AV機器11には、バックル14の雄側15または雌側16に対応して締結される雌側16または雄側15が配されているので、雄側15を雌側16に締結することでAV機器用スタンド12とAV機器11とが簡単に締結される。

【0010】

【実施例】 以下、本発明転倒防止装置の一実施例について図面を参照して説明する。

【0011】 図1Aは本発明転倒防止装置の一実施例の構成を示す外観斜視図であり、図1Bは図1Aの一部拡大図である。

【0012】 図1Aにおいて、11はAV(audio-visual)機器としてのテレビジョン受像機（以下、テレビジョンという）である。なお、AV機器としては、テレビジョン11に限らず、VTRが組み込まれたテレビジョン、ディスプレイモニタが組み込まれた光ディスクプレーヤ等がある。

【0013】 このテレビジョン11は、AV機器用スタンドとしてのテレビジョン受像機用スタンド（以下、テレビジョン用スタンドまたはスタンドという）12の天板13に載せられて使用に供される。

【0014】 スタンド12とテレビジョン11には、それぞれ、バックル14を構成するアンカ一部15（雄側）と受け部16（雌側）が取り付けられる。なお、スタンド12に受け部16を、テレビジョン11にアンカ一部15を付けるようにしてもよい。

【0015】 バックル14の受け部16は、テレビジョン11の背面カバー17のうち、背面部17aに木ねじ18（図1B参照）によって取り付け固定される。なお、木ねじ18によって、取り付け固定するに際し、受け部16の先端部16aが、背面カバー17に形成された凹部17bに差し込まれるとともに、受け部16の舌片保持部受け部16bが、背面カバー17に形成された略直方体上の凹部17cに挿入されるので、受け部16は、背面カバー17に一体的に固定されることになり、木ねじ18で止められた箇所を支点として回転して移動するようなことはない。舌片保持受け部16bには、構部16cが形成されている。受け部16は、樹脂等により一体成形することが可能である。金属材料により作製

してもよい。

【0016】アンカーパーク15は、ナイロン製等のベルト21と、そのベルト21が巻き付けられるベルト受け部22と、このベルト受け部22とヒンジ部23を通じて取り付けられる舌片保持部24とを備えている。舌片保持部24には、矢印P方向に反発力を有する可動舌片部25が一体成形により配されている。舌片保持部24は、ヒンジ部23を中心として、矢印R方向に所定角度回転することが可能である。

【0017】アンカーパーク15は、ベルト21の一方の先端部側21aが針26により天板13の背面13aに、いわゆるタッカーアー止めされることで、スタンド12に取り付けられる。

【0018】なお、受け部16およびアンカーパーク15は、メーカー側で取り付けられた状態でユーザー側に供給される。

【0019】使用に際して、ユーザまたは据え付けサービスマンは、図1Aの状態にした後、バックル14のアンカーパーク15を受け部16に差し込むだけで、アンカーパーク15と受け部16とが締結される。詳しく説明すると、アンカーパーク15の可動舌片部25を受け部16に形成された構部16cをくぐらすようにして受け部16に差し込むだけで、可動舌片部25の段部25aが構部16cに当たることになるので、アンカーパーク15は受け部16から抜けることがなくなる。結局、バックル14は、アンカーパーク15を受け部16に差し込むだけで簡単に締結することができる。

【0020】このようにアンカーパーク15を受け部16に差し込むだけでバックル14は簡単に締結され、締結さ

れたバックル14によりテレビジョン11の転倒が防止される。なお、アンカーパーク15には、ベルト21が付いているので、ベルト21の長さを調節することにより多種類のスタンドおよび多種類のテレビジョンに適用することが可能である。

【0021】なお、本発明は上述の実施例に限らず本発明の要旨を逸脱することなく種々の構成を探り得ることはもちろんである。

【0022】

【発明の効果】以上説明したように、本発明転倒防止装置によれば、AV機器用スタンドには、バックルの雄側または雌側が配され、AV機器、例えば、テレビジョン受像機には、上記バックルの上記雄側または上記雌側に対応して締結される雌側または雄側が配されているので、雄側を雌側に締結することによりAV機器用スタンドとAV機器とを簡単に締結することができるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

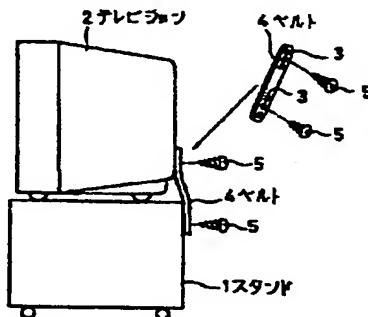
【図1】Aは本発明による転倒防止装置の一実施例の構成を示す外観斜視図である。BはA例の一部を拡大して示す拡大斜視図である。

【図2】従来の技術による転倒防止装置の構成を示す側面図である。

【符号の説明】

- 11 テレビジョン受像機
- 12 テレビジョン受像機用スタンド
- 14 バックル
- 15 アンカーパーク
- 16 受け部

【図2】



従来の技術による転倒防止装置

[図 1]

